学校法人ISI学園　専門学校東京ビジネス外語カレッジ
2022年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス実務Ⅲ		TGB235
講義名（コード）	TGB_ビジネス実務Ⅲ		TGB235
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	池内　美恵子	時間数	30
成績評価教員	池内　美恵子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

到達目標・目的	・人間力における、社会人教育分野の学びの中で、学生が自己理解と自己管理能力向上を基礎に、現代社会でキャリアを発展させるに必要なビジネス実務の知識の習得を通してビジネス社会での一般的実務を理解できるようになる。
全体の内容と概要	・ビジネス社会において相手を理解し、より良い交流をするために不可欠なビジネスコミュニケーション能力を世界に通用するグローバルスタンダードである「プロトコール」を通して学ぶ。
授業時間外の学修	・授業開始までに、必ず一読してくること。 ・復習課題としてレポートの提出を求めることがあります。
履修上の注意事項等	・ビジネスコミュニケーション「プロトコール」の授業であると心得、授業中の態度、及び言葉遣い等に気をつけること。

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件				
評価基準	知識（期末試験点） 60%		自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数		出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容	
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。	
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。	
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。	
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。	
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。	
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	・授業への取組、資格取得に向けてモチベーションをあげる	・オリエンテーション・授業の受け方/予習復習への取組等について ・マナー・プロトコール検定取得について
2	・マナーとビジネスキャリアについて理解する1/3	・マナー・プロトコールとは何か ・プロトコールを学ぶ意義
3	・マナーとビジネスキャリアについて理解する2/3	・マナーの歴史と成り立ち ・西洋のマナー
4	・国際人としてのプロトコールを理解する3/3	・エチケットの成立ち ・公式な場でのプロトコール
5	・国際人としてのプロトコールを理解する1/2	・社交の場でのコミュニケーション ・外国の慣習やしきたりに配慮する
6	・国際人としてのプロトコールを理解する2/2	・自国の文化を紹介する・贈り物の習慣 ・自国の文化を紹介する
7	・企業が求める人材について理解する	・会社のしくみ ・社会人に必要な要素・仕事の進め方
8	・顧客満足とプロのサービスを理解する	・顧客満足の重要性 ・トラブル対応と顧客満足
9	・ビジネスシーンのマナーを理解する1/2	・好感度とマナー ・敬語と、好感の持てる表現
10	・ビジネスシーンのマナーを理解する2/2	・「話し方」「聞き方」の基本 ・電話応対のマナー・ビジネス文書・電子メールやファックス
11	・食事とコミュニケーンを理解する1/2	・食事の作法の基本 ・日本料理のいただき方・和室の所作
12	・食事とコミュニケーンを理解する2/2	・西洋料理のいただき方・中国料理のいただき方 ・その他の外国料理
13	・お酒のマナーを理解する	・製法による分類 ・飲酒シーンによる分類・ワインの基礎知識
14	・前期期末試験	・前期期末試験の実施
15	・前期期末試験ＦＢ	・前期単元の総括 ・前期期末試験のフィードバック

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	マナー&プロトコールの基礎知識／マナープロコトール検定問題集
参考文献・資料等	文部科学省後援マナー　プロトコール　大人のマナー講座
備考	